



大塚台の風

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

横須賀市立大塚台小学校 学校だより267号
R8.2.20

令和7年度も残すところ一ヶ月となりました。現在、教職員で学校の目指していること(グランドデザイン)について学校評価アンケート結果や各種調査結果などをもとに実現状況を振り返り、次年度の教育活動の在り方について話し合いを行っています。保護者の皆様には、学校評価アンケートにご協力くださりありがとうございました。アンケート結果は次のようになりました。

◆学校評価アンケート結果(全体)

上段:肯定的評価(%) 下段:昨年度比

| 学校教育目標 | | 児童 | 保護者 | 教職員 |
|---|---------------------------|------------|-------------|--------------|
| 学校教育目標「笑顔いっぱい 夢いっぱい ~人とまちを愛する心 未来へ~ | | 設問なし | 97 (+5) | 100 (±0) |
| 学校では、生き生きと楽しく学習ができています | | 86 (-2) | 96 (+5) | 100 (+5) |
| 児童たちが「気づく!」「感じる!」「伝える!」ことができる学校 | | 80 (±0) | 90 (+6) | 100 (+15) |
| 目指す児童像 | | 児童 | 保護者 | 教職員 |
| 学習面 | 「自分に気づく」「相手に気づく」「周りに気づく」子 | 87 (+2) | 86 (+10) | 100 (+10) |
| | 「分からない」「まよっている」を伝えられる子 | 77 (+7) | 設問なし | 94 (+10) |
| | 「つながる」「つなげる」ができる子 | 77 (-6) | 88 (+10) | 82 (+9) |
| 健康面 | 生活を見直し、改善しようとする子 | 84 (+3) | 80 (+4) | 62 (-1) |
| | 身体を動かすことを通して、心身ともに健康な子 | 83 (+2) | 86 (+10) | 71 (+19) |
| | 自分の身を守ることができる子 | 93 (+3) | 89 (+14) | 100 (+5) |
| 生活面 | 自分の思いや考えを伝えられる子 | 74 (-2) | 81 (+6) | 94 (+4) |
| | 相手の気持ちを考えた言動ができる子 | 95 (+3) | 87 (+2) | 90 (±0) |
| 学校運営・家庭地域との連携 | | 児童 | 保護者 | 教職員 |
| 計画的・効率的な学校運営 | | 設問なし | 設問なし | 88 (-7) |
| 柔軟な教育課程の編成(学校行事の精選や見直し) | | 設問なし | 96 (+5) | 79 (-11) |
| 学校運営協議会・教育ボランティア登録者など地域とのつながり/PTA・保護者との連携 | | 設問なし | 89 (+1) | 100 (+5) |
| 教育活動の発信 | | 設問なし | 97 (+5) | 100 (±0) |
| 目指す教職員像 | | 児童 | 保護者 | 教職員 |
| 見通しを持って、柔軟に教育活動をマネジメントできる教職員 | | 設問なし | 設問なし | 94 (-1) |
| 児童理解をベースにした授業や指導ができる教職員 | | 94 (+5) | 91 (+6) | 88 (-7) |
| 多様性を認め合い、普段から互いにコミュニケーションをとり、助け合える教職員 | | 設問なし | 設問なし | 94 (-1) |

◆学校評価アンケート結果より

- 『「自分に気づく」「相手に気づく」「周りに気づく」子』の設問では、児童・保護者・教職員の全てにおいて、肯定的回答率が昨年度の結果を上回りました。これは、目標やめあてに立ち返って学習や学校行事などに取り組む姿勢を振り返る活動を重視してきた成果ととらえています。自分のよさや可能性に気づいたり、友達の思いや周りの状況に気づいて行動したりすることは、自己肯定感やコミュニケーション力の向上につながっていくと考えています。次年度も、自己理解や他社理解の育成に努めてまいります。
- 保護者の皆様からのアンケート結果では、肯定的回答率が全ての項目で昨年度の結果を上回りました。今年1年間の取り組みをプラスにとらえてくださっている方が多いことが伺えます。しかし、本年度より調査方法を紙媒体からグーグルフォームに変更しました。このことが影響している可能性もあると考えています。次年度以降も保護者の方から信頼され、子ども達が「笑顔いっぱい夢いっぱい」の学校生活を送ることができる学校を目指し、児童数減少への対応など教育活動の改善を図っていきます。
- 『学校では、生き生きと楽しく学習ができています』という設問に対する肯定的回答率は、児童が86%に対し教職員は100%と大きな違いが見られました。教職員は楽しく学習していると認識している一方で、子ども達は学習の楽しさを十分に感じていない状況があると考えられます。今後は、今まで以上に子ども一人ひとりをていねいに見取り、子供の学習状況を適切に把握しながら一人一台端末を有効に活用するなど、個に応じた指導の充実を図っていく必要があると考えています。

■来年度からの大塚台小学校■ ～入学説明会から～

2月2日(月)には、来年度の新入生向けの入学説明会がありました。今年度と大きく変わることはありませんが、お願い事項が2つあります。

1つ目は1年生の帽子についてです。例年1年生の通学の帽子は黄色のハット型ですが、来年度は黄色のハット型とツバが青のベ이스ターズバージョンのハット型の2種類となります。ツバが青の帽子を被った子どもたちも1年生ですので、もし通学路上で困っていることがあれば、手助けをしていただくと助かります。



2つ目は登下校の方法についてです。これはお願いになります。怪我等の特別な場合を除き、徒歩での通学をお願いします。近隣から路上駐車が多く、車の通行に支障をきたしている、という声を再三いただいておりますので、どうかご協力をお願いいたします。

| | |
|--|---|
| <p>保護者の皆さんにお願いしたいこと</p> <p>学校へは歩いて登下校させてください!</p> | <p>何故車での登下校を遠慮してほしいかという...</p> <p>けがをした人を早く運びたいのに...</p> <p>車がたくさん停まっていた気がつかないよ。</p> <p>前の車がまだ停まっていると思ったのに...</p> |
| <p>登下校の基本は...</p> <p>★歩きです!</p> <p>怪我等特別な理由がなければ 迎えに来ることで...</p> <p>①他の車の通行の妨げになる。 ②歩いている児童を危険な目にあわせてしまう危険性がある。</p> | <p>登下校も大事な学習の機会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交通ルールを知る 2. 自分の身の守り方を知る 3. 友達とのコミュニケーション <p>体力づくりという点でも非常に大切な時間です!</p> |

先日の授業参観・懇談会へ足を運んでくださり、ありがとうございました。校内がちょっとしたギャラリーのような雰囲気になっていますが、写真を撮った日は主がいらない教室もあり、なんだか作品も寂しそうでした。

